

『長崎県農林技術開発の推進構想』のポイント

これまでの研究成果



所得向上を実現するイチゴ「ゆめのか」の栽培技術



機能性成分のカロテノイドを含む良食味の「ながさき黄金」



小麦「長崎W2号」
商品名「長崎ちゃん麦」



大果で良食味な「なつたより」



商品化された
「美軽茶」「五島つばき茶」



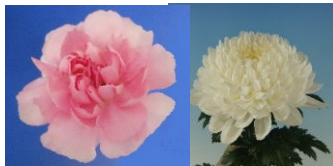
「長崎果研させぼ1号」
「長崎果研原口1号」



電気止め刺し器の開発



矮性ネピアグラス草地による放牧技術



花きの新品種（「だいすき」「白涼」等）



ツバキ林育成や油の利用技術の開発

基本理念

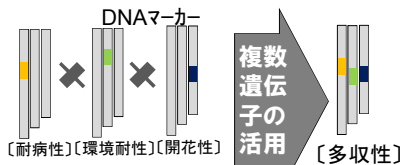
「生産から流通・加工、消費にいたる先導的な農林業技術の研究開発による本県農林業の活性化」

重点テーマ

- 1) 生産性や品質を飛躍的に向上させる生産技術・品種の開発
- 2) 機能性等に着目した新用途・新商品の開発と地域資源の有効活用
- 3) 生産を阻害する要因の解明と回避技術の開発
- 4) 環境保全型農林業技術の開発

次世代に向けての新たな研究領域への挑戦

① 新品種育成を大幅に短縮する育種技術の開発



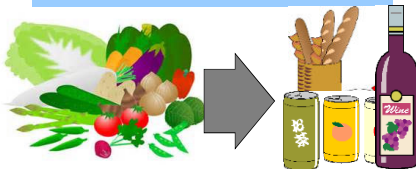
DNAマーカーの活用技術の開発を推進し、優れた特性を有する新品種育成を進める

② 生産性を大幅に向上させる統合環境制御型施設の開発



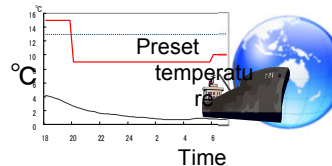
高収量高品質を実現する統合環境制御技術を確認するとともに再生可能エネルギーやICT技術の活用を図る

③ 6次産業化を支援する付加価値向上技術の開発



農林産物の付加価値を高める6次産業化を支援するとともに、農林産物の機能性を活かした商品等の開発を進め、農業所得の向上につなげる

④ 海外輸出を拡大する品種と鮮度保持技術の開発



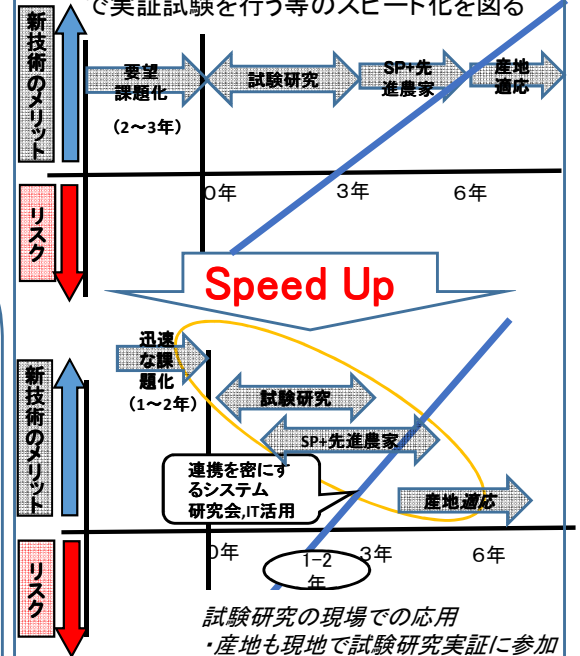
海外消費者の嗜好や植物検疫に対応できる生産技術、品質管理技術等の開発を行う

Point

- 次世代に向けての新たな研究領域
- 研究成果の迅速な技術移転・普及

研究成果の迅速な技術移転・普及

研究成果の迅速な社会実装を図るため、「知の集積と活用の場」や「研究ネットワーク」等を活用し、研究企画段階から普及、生産者と緊密に連携し生産現場で実証試験を行う等のスピード化を図る



研究成果(新技術)をパッケージ化・メニュー化して普及

